

知る

山形市の戦争による影響

戦災を免れた山形市

全国で県庁所在地の大部分が空襲を受け、隣接する仙台市も大きな被害を受けましたが、山形市は戦災を免れた数少ない非戦災都市の一つでした。しかし、当時は空襲への不安の毎日で、連日のように防空訓練が行われていました。また、歩兵第三十二連隊から多くの本県出身者が戦地へ送り出されるなど、多くの命が戦地で失われました。

子どもたちの学校生活も戦争一色に

昭和16年、山形市の学校も「国民学校」となり、体育の学習では騎馬戦などの戦いに関する運動、学芸会の劇では「飛行機来る」など戦争に関するものが多かったそうです。修学旅行も遠くへは行けず歩いての蔵王登山などとなり、卒業アルバムも廃止になった学校もありました。衣料品は配給制となり、紙の不足も深刻で、封筒を裏返して再使用するほどでした。



平和を考える

問

広報課（☎内線244）

今年で戦後81年を迎えます。しかし、戦争は決して過去のものではありません。世界では今なお各地で紛争が絶えず、平和が当たり前のもではないことを改めて実感させられます。本特集では、山形市が受けた戦争の被害や影響、市内に今も残る戦争の痕跡、そして今年開催される平和関連の催しを紹介いたします。この機会に、平和の尊さについて考えてみませんか。

見る

山形市の戦争の痕跡など



日飛神社(薬師町)



雪部隊戦没者慰霊碑(薬師町)



山形歩兵第三十二連隊之跡(霞城町)

かつて山形駅南側には、日本飛行機の製造工場があり、終戦近くには最新鋭のロケット戦闘機「秋水」も極秘製造。戦後、工場跡地の社が現在の地に移され、「日飛神社（正式には日枝神社）」と呼ばれています。

昭和14年、弘前・秋田・山形の歩兵連隊を中心に編成され、本県出身者約4,000人が含まれていました。昭和19年、ニューギニアでの戦いでは食料などの補給が断たれ、多くの人が病死・餓死しました。

霞城公園には「霞城連隊」とも呼ばれた歩兵第三十二連隊の本部がありました。多くの本県出身者が入隊し、日露戦争、太平洋戦争などの戦地へ向かいました。



令和7年7月15日号の特集はこちら▲

考える

市内で開催される主な平和関連の催し

山形市では、核兵器の廃絶と平和への願いを込めて「山形市平和都市宣言」を議決しました。その趣旨を広く市民の皆さんと共有するとともに、次世代を担う子どもたちの未来の平和を願い、昭和60年から平和劇場、平和コンサート、原爆展などの「山形市平和都市宣言事業」を毎年継続して開催しています。ぜひ足を運んでみてください。



7/5(土)13:30~

第42回平和コンサート



7/11(土)12:00~

街なか平和コンサート



7/18(土)17:00~ 19(日)12:30~

第42回平和コンサート



7/25(土)14:00~・18:30~

第41回山形平和劇場



8/1(土)~8/23(日)

市立図書館展示



8/3(月)~8/7(金) 9:00~17:00

原爆展

※8/5~8/7は21:30まで





ボルダー市景観



ボルダー市庁舎



マラソン大会

ボルダー市とは？

ボルダー市は、ロッキー山脈の麓に位置し、豊かな自然と美しい景観が魅力の都市です。

「コロラドミュージックフェスティバル」などが開催される芸術文化都市であると同時に、アウトドア活動をはじめとする健康的なライフスタイルが根付いており、地元食材を活用した「ファーム・トゥ・テーブル」の食文化など、環境や持続可能性を重視するまちづくりでも知られています。

位置：アメリカ・コロラド州
人口：約100,000人
気候：湿度が低く過ごしやすい
面積：約59平方キロメートル
(山寺地区とほぼ同じ)
公用語：英語



ボルダーのシンボル フラットアイアン山

山形市とボルダー市 姉妹都市締結30周年

山形市とボルダー市～交流の歩み～

平成6年4月22日姉妹都市盟約締結以降、訪問団の相互派遣など、さまざまな交流を通じて、ボルダー市と友好を深めてきました。

令和7年9月には、ボルダー市長をはじめとした訪問団が来形し、『日本一の芋煮会フェスティバル』に参加するなど、交流を行いました。



「日本一の芋煮会フェスティバル」
であいさつをする両市長



記念式典・祝賀会での山形市長とボルダー市訪問団

市長と行く

姉妹都市締結30周年記念 市民訪問団参加者募集

ボルダー市を広く市民の皆さんに知ってもらい、さらなる友好親善を図るため、市長を団長にボルダー市へ市民訪問団を派遣します。

時 9/28(月)～10/4(日) **対** 先着20人 **申** 受付中
※旅行代金、旅程、参加申し込みなど詳しくは、山新観光株式会社 ☎622-8321) へ。

※市民訪問団について詳しくは、市ホームページへ。

問 国際交流センター ☎647-2275



訪問日程

- 1日目 山形市出発
- 2-3日目 ボルダー市での交流活動
- 4-5日目 ロサンゼルス市など視察
- 6日目 移動
- 7日目 山形市到着